

# IT(パソコン)を使った授業

04.11.16 北千里高校 齊木英範

## A. はじめに

### 1. 学校の概要等

#### (1) 地域の状況 阪急千里線北千里駅から徒歩

- ・千里ニュータウン内にあり，周囲は住宅地と公園，国立病院に隣接  
非常に恵まれた環境

#### (2) 学校の状況

- ・ 1978 (S53) 年開校，28 年目
- ・ 学校規模 23 クラス，生徒数約 920 名 (@40 × (8+8+7 クラス))
  - ・ 通学区は，第2学区（吹田，大阪東淀川，茨木，摂津，高槻，…）
- ・ 生徒の傾向
  - ・ ほとんどが4年制大学志望（関西の有名私立大学や国公立への希望）
  - ・ いわゆるサラリーマンの子どもたちが多い。生活経験は乏しい。
  - ・ 保護者は教育熱心で，学校への関心・期待が強く，要望も多い。
  - ・ クラブや学校行事も熱心で，学校生活を精一杯楽しんでいる。
  - ・ 授業は，苦勞することはほとんどないが，内容によっては困難も…。

### 2. 教育課程の特色

#### (1) 文科省の「学力向上フロンティアハイスクール」の指定

- ・ 「総合的な学習の時間」を柱にした教育課程編成の工夫

#### (2) 学習指導の重点（『H16年度 学校教育計画』より抜粋）

- ・ 生徒の実態に即した合理的な指導計画のもとで，生徒一人ひとりの学習意欲の高揚と学力の向上につとめる。
- ・ 授業に対する取り組みを厳しく指導し，平素の自主的な学習態度，学習習慣の養成に力をそそぐ。
- ・ 教科の指導にあたっては，単に知識の習得のみに終わらせず，興味を持って意欲的に取り組む姿勢ができるようつとめる。
- ・ 各教科の教員が相互に密接な連携を保ち，学校全体が一体となって生徒の全人的な発展をめざす。

- ・ 2学期制（定期考査は5回）

- ・ 2年次より類型と科目選択履修 文1，文2，理型

#### (3) 社会科のカリキュラム（新課程）

## B. 現代社会の授業について

### 1. 教科書・資料集 教科書：東京書籍，資料集：とうほう

### 2. 目標（シラバスより）

#### (1) 到達目標

- ・ 現代社会の基本的な問題に対する判断力の基礎を培うとともに，それと関連させながら人間としての在り方・生き方について自ら考える力を養う。また，学び方や自らを表現する方法の習得を図る。

#### (2) 目標に向けた具体的取り組み

社会的事象を理解・判断するための基礎・基本を身につけさせる。

生徒自身が現代社会の諸問題を取り上げ，主体的に課題を追求させるようにする。

倫理，社会，文化，政治，経済など様々な観点から考え，社会的事象を総合的にとらえようとする姿勢を育てる。

新聞切り抜きノートを作成させ、新聞を読む習慣が身につくように指導する。

『総合的な学習』と連携しながら、自ら選んだ課題に対する調査・分析を通して学び方を身につけさせる。以上のようなことに留意して、「問題の本質は何か」、「何をなすべきか」、「何ができるか」を追究し、自分自身の在り方・生き方を主体的に考えることができるようにする。

適宜、コンピュータなどの情報機器を活用し、また新聞や写真、テレビ番組などの視聴覚教材や教育機器の利用によって、生徒の興味を喚起する効果的な手法を取り入れる。

## C. 授業実践報告

【対象】 現代社会（１年生）

【テーマ】「年金問題から政治過程（政党・国会・選挙）を学ぶ」

【ねらい】

### 1. 年金制度の学習指導

・従来から「年金」を扱った授業をしてみたいと思っていたが、年金制度は非常にややこしいこと、生徒にとっては身近でない、という２点から扱いかねていた。

しかし、今年（０４年）ははじめからの、江角マキコに始まる未納問題や国会での年金改革論議、そして参議院選挙など、年金改革をめぐるさまざまな動きがあった。

そこで、年金を制度として学ぶだけでなく、現実の政治の動きの中でどのように改革がなされたかを「政治過程」としてとらえて、学習することはできないかと考えた。

### 2. 授業方法としてのＩＴ利用と著作権問題の研究

・デジタルコンテンツやパワーポイントを使った授業の実践

デジタルコンテンツやパワーポイントを使った授業方法を研究してみたところへ、文科省の研究指定ということで、技術的な援助もいだけ、公開講座をする機会あるということで、思い切って取り組んでみた。

・なお、他人の著作物を授業で利用する場合は、著作権法上の例外(35条)が適用される。しかし、これを発表したり、共有化したりする場合には、著作権法や肖像権など多くの法的な問題が生じる。デジタル化したコンテンツを利用した授業をしてみることで、同時に著作権に関わる問題や今後の課題も実践的に考えてゆきたい。

## 【学習内容の構成】

### 1. 指導計画

学習内容１ 社会保障と年金問題を学ぶ（１h）

学習内容２ 年金問題から政治過程を学ぶ(本時)(１．５H)

### 2. 授業展開

(1) 実施：０４年１１月１９日(金)５・６限目 / 本校 社会科教室  
１年２組４０名

(2) テーマ：年金制度の学習を通して、政治過程を学ぶ  
年金問題を政治の動きの中でとらえることで、制度のみならず、政治過程の学習としたい

(3) 授業方法：パワーポイントとミニ・ロールプレイングを使った授業

(4) 授業展開

| 学習内容と学習課題 [番号]はポイント                                                                                                                                                                                                                                                                         | 指導上の留意点など                                                                                                                                                                                   |
|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 【前時の復習】社会保障と年金制度[1]                                                                                                                                                                                                                                                                         |                                                                                                                                                                                             |
| <p>【導入】年金とは [2]-[6]</p> <p>遠足で行ったみかん園のおじさんのお話から<br/>ビデオ「秋祭り(社会保険庁)」の冒頭5分<br/>ミニ・ロールプレイング<br/>「おじいちゃんって金持ち？」から</p>                                                                                                                                                                           | <p>おじさんへのインタビューから<br/>ビデオを利用して、年金を主体的に考えるワークショップ<br/>3人で、3～4回おこなう</p>                                                                                                                       |
| <p>【展開】</p> <p>年金制度<br/>20歳で加入[5]</p> <p>年金制度の問題[7]-[16]<br/>制度の複雑・制度間の不公平<br/>少子高齢化<br/>未納者の増加</p> <p>年金改革[17]<br/>政党の年金改革案[18]-[19]</p> <p>国会の論議[20]-[24]<br/>本会議の議論・採決<br/>委員会審議</p> <p>その過程で未納問題発覚[25]-[29]</p> <p>参議院議員選挙[30]-[36]<br/>選挙の争点<br/>選挙結果<br/>選挙のその後</p> <p>年金改革実施[37]</p> | <p>年金制度の理解<br/>20歳になれば加入義務が生じ<br/>身近な問題になる点</p> <p>グラフから将来予測を読む<br/>新聞</p> <p>インターネットで各政党の主張を調べる<br/>衆議院のHPへ<br/>本会議の中継(録画)<br/>選挙の報道(ビデオ)</p> <p>ポスター・新聞など</p> <p>ビデオ(テレビ報道)</p> <p>新聞</p> |
| <p>【まとめ】[38]-[39]</p> <p>年金問題で国民の声は反映されたか・問題点は<br/>国民の行動についてどう考えるか・行動するか</p>                                                                                                                                                                                                                | <p>政治を主体的の考える</p>                                                                                                                                                                           |

終了後、授業方法についての討論とアンケート実施

## 【授業を実施してみた】

### 1. 年金制度に関わる部分

年金制度は、やはり内容的に難しい。また高校1年生段階では、あまりに縁遠い話なので、生徒の興味・関心が薄く、学習への動機付けが難しい。

したがって、導入として、ミニ・ロールプレイングを用いた。

おじいさんの主たる収入が「年金」であることに気づかせた上で、年金制度に焦点をあてるという計画案であった。しかし、ロールプレイの中では、おじいちゃんのお金が、「若いときコツコツ貯めた」「宝くじに当たった」「おばあちゃんの生命保険」と、年金が出てこなかったもので、せっかくのロールプレイングが生かせず、授業の展開が少々強引になった。

原因：1. 予測の失敗、2. 万一の時の仕掛けの不足 3. C P による授業の弱点（後述）

それでも、ロールプレイ自体は好評であった。

### 2. I T（パワーポイント）を使った授業方法に関わる部分

技術的な問題

- ・操作の不慣れも含めて、さまざまな技術的な問題が明らかになった。

例：1. 文字の大きさ 2. 背景の色や字の色 3. 明るさ

この点は、今後、多くの教員が実践を積み重ねて、方法の共有化、マニュアル化をしてゆくことによって対応できるものとする。

設備面での問題

- ・パソコンなどの機器の問題

今回はDVD映像を利用したが、学校にはDVDを作動できるC Pがない。また、政党や国会にインターネット接続する計画であったが、学校のC Pでないと校内LANにはつなげない。したがって、動画（DVD）をとるか、インターネット（LAN）をとるかを迫られた。結局、私物のC Pで動画（DVD）を優先した。

機器として、コンピュータ、プロジェクター、音響設備が必要であるが、教室に常設されていないので、事前の準備が必要である。

- ・教室などの設備面の問題

教室の電灯が教室の前だけを消すことができる配線になっていないこともわかった。

スクリーンが正方形で小さく、位置も黒板の真ん中に設置されているの、板書との併用ができない。最近は左右の側に斜めに設置されていることが多いようである。

授業進行の問題

- ・コンピュータの操作が必要なので、そこから離れられない。立ち位置が制限されることや机間巡視が難しいなどの問題がある。ワイヤレスなどの機器が必要かもしれない。
- ・授業の展開が、事前に準備（予想）した順番でしか、展開できない。授業は、教師からの一歩的な「報告」ではないので、生徒の様子に応じて機敏な対応が求められる。その点で課題を感じた。

生徒を授業に主体的に参加させる問題

- ・パワーポイントを利用した授業は、一方的な説明になりがちである。意識的に、生徒の主体的とりくみを考えておく必要がある。
- ・パワーポイントの資料を減らして、たとえば写真をじっくり観察させるような使い方がのいいかもしれない。通常の事業の間に、適宜資料集やデータを映して見るような使い方が望ましいように思う。

すると機器が常設されているような教室が必要になる。（設備面参照）

【生徒の感想】

アンケート（生徒用） 提出者 39 人 / DK・無回答は省いています  
授業を受けて感じたことについて下の質問に教えてください。  
答えは選択肢から選んで数字に○印をつけてください。

質問 1 (C-1) : 「今回の授業はあなたにとって役に立ちましたか」

- |                 |    |
|-----------------|----|
| 1. とても役に立った     | 1  |
| 2. 役に立った        | 19 |
| 3. あまり役に立たなかった  | 16 |
| 4. ぜんぜん役に立たなかった | 1  |

質問 2 (C-2) : 「普段の授業と比較し、わかりやすかったですか」

- |                |    |
|----------------|----|
| 1. とてもわかりやすかった | 5  |
| 2. わかりやすかった    | 24 |
| 3. 少しわかりにくかった  | 8  |
| 4. とてもわかりにくかった | 0  |

質問 3 (C-3) : 「授業に集中して取り組むことができましたか」

- |                          |    |
|--------------------------|----|
| 1. 最後まで集中して取り組めた         | 6  |
| 2. 途中で少しだれたが最後まで取り組めた    | 16 |
| 3. 途中から集中して取り組めなくなった     | 14 |
| 4. はじめからぜんぜん集中して取り組めなかった | 2  |

質問 4 (C-4) : 「授業の内容は理解できましたか」

- |                 |    |
|-----------------|----|
| 1. とても良く理解できた   | 2  |
| 2. 大体理解できた      | 23 |
| 3. あまり理解できなかった  | 7  |
| 4. ぜんぜん理解できなかった | 2  |

質問 5 (C-5) : 「講師が用意した教材（説明用資料）は、わかりやすいものでしたか」

- |              |    |
|--------------|----|
| 1. とてもわかりやすい | 2  |
| 2. わかりやすい    | 19 |
| 3. 少しわかりにくい  | 13 |
| 4. わかりにくい    | 3  |

次の質問 6 は実習や実演があった場合のみ記入してください。

質問 6 (C-6) : 「実習や実演は、わかりやすいものでしたか」

- |              |    |
|--------------|----|
| 1. とてもわかりやすい | 7  |
| 2. わかりやすい    | 11 |
| 3. 少しわかりにくい  | 10 |
| 4. わかりにくい    | 3  |

質問 6 - 2 : なぜ質問 6 の答えのように思ったのか、その理由を書いて下さい。

○ ちょっと身近に考えられた

- いろんな答えがあっっておもしろかった
- お芝居の形式で，どこの家庭でもあるようなセリフや会話だったから
- こづかいをもらう話など，身近な事柄を使って実演することで共感を覚えたり，頭にも入りやすかった。
- 楽しくみれた
- 楽しくできた
- × 実演が全然関係なかった。おもしろいけど，わかるのとは関係がなかった
- × 的がはずれていた
- × 笑いになってしまって，なんかイミがない気がした
- × 先生が用意した簡単な文章を生徒がアレンジして読むだけだったから
- × 趣旨がよくわからなかった
- × いろんな答えが出たけど，だからどうなのかを，もっとわかりやすく説明してほしい

質問 7 (C-7) : 「今回の授業テーマに興味を持ちましたか」

- |                  |    |
|------------------|----|
| 1. 強い興味を持った      | 1  |
| 2. 興味を持った        | 14 |
| 3. あまり興味を持てなかった  | 17 |
| 4. ぜんぜん興味を持てなかった | 5  |

質問 8 (C-8) : 「今回のような授業をもう一度受けたいと思いますか」

- |                |    |
|----------------|----|
| 1. 是非受けたい      | 6  |
| 2. 受けたい        | 19 |
| 3. あまり受けたくない   | 11 |
| 4. ぜったいに受けたくない | 1  |

質問 9 (C-9) : 「今回授業を受けて、普段の授業と違うことがありましたら記入してください。

【好評だった意見】

- ・ クラスの生徒たちが前に出て発表したり，パソコンを使用したりすることによって，授業に入りこみやすくなっており，授業に入りこみやすくなっており，とても良い球場になったと思う。
- ・ いつもは居眠りばかりしている生徒もちゃんと聞いていたし，よかったと思う。
- ・ パワーポイントを使っていることもあって，色の識別（使い分け）とかはときどき微妙やったけど，いつもの授業よりかは，見やすかったし集中もできた。
- ・ パワーポイントを使って，動画や図を使っていて，むずかしい内容も，少しはわかりやすかったと思う。
- ・ 楽しく笑って取り組めたところがあった。
- ・ 映像を使っていたので，普段より興味を持てた。
- ・ 先生の話だけでなく，カラフルな映像が見れたのでわかりやすかった。
- ・ 普段の授業よりはわかりやすかった。映像とかあったから興味がないものでもまだ見ようという気持ちがわく。
- ・ 資料があるからわかりやすい。
- ・ ビデオを見ながら授業を受けたこと。
- ・ 実演があったこと。

- ・パソコンの使ったの授業は楽しく聞くことができた。今度またちがうのを聞きたいと思った。
- ・いつもよりしずかだった。テレビやパソコンの映像があり，身近に感じた。
- ・資料（図やグラフ）がたくさんあって分かりやすかった。
- ・言葉の説明だけでなく，図やグラフがたくさん使用されていたから。
- ・パソコンを使用したり，普段とは違う感覚で授業を受けれた。
- ・映像や資料を提示して説明したほうが，よりわかりやすいし，頭に残りやすい。
- ・グラフなどを使っていたから，どのくらいの数字，割合か，わかりやすかった。
- ・色別に分けたグラフなどがわかりやすかった。

#### 【不評だった意見】

- ・パソコンを使ったりしている作業がトロかったので，見苦しかった。退屈だった。
- ・字見えにくい。
- ・どっと疲れた。
- ・プリントを使っていないし教科書も使わなかったから跡になにも残らないから，復習ができないと思った。
- ・ねむかった。
- ・うす暗くてめっちゃねむい。
- ・色のつけ方が見にくすぎる。
- ・画面がすぐ変われたりして，スムーズに進む気はしたけど，
- ・自分たちで文字を書くことが少なくてあまり心に残らなかったような気がする。
- ・先生が機械から離れられなくて，直接生徒と話し合いにくいと思った。
- ・やることがなくて，少し退屈だった。どこがポイントなのかが少しわかりにくかった。
- ・字が小さくて見えなかった。
- ・生徒の発言率が低い。
- ・黒板に映っためんが時々色のせいで見えにくかった。
- ・先生がもっとちゃんと機械のことを理解してスムーズにすすめてほしかった。つかれる。
- ・内容が難しい

#### 【コンピュータ利用に関する意見】

- ・先生が黒板に書く時間が短縮することができるのでとてもいいと思った。けど，パソコンが使えない先生なら一週間に20時間の授業はむずかしいと思った。
- ・動く図とかがあって，分かりやすいし，おもしろかった。
- ・映像の方が分かりやすい所もあるけど，ちゃんと文章にしてノートに書いた方がわかるところもあると思う。（後で見直しをするためなど）／目が疲れる
- ・いつもと違ったから，新鮮みがあってあまりだれなかった。でも，いつもこういう授業だと眠いと思う。理解とかはできるけど，自分で考える，という所が少なかったように思われる。授業が一方的。

テレビとかはちょっとねむい。

カラーとかの方が図はわかりやすい。

パソコンよりは目が疲れにくい。

- ・普段の授業にはない動画などがあったから，おもしろかった！！静止画より興味がわく。もっとスムーズにいったら，別にしんどくない気がする。でも今日は長かったから腰が痛い。
- ・字は大きくしてほしい。最低何ポイントとか決め解いた方がいいのかなぁと思いました。

- ・ 重要な所がどこかわからないから，特に読んで欲しいところにラインを入れるとか，工夫をして欲しい。
- ・ 普段の授業では映像は使われないけど，この授業では色んな映像が見られたからおもしろかった。でも，内容にあんまりまとまりがなかったような気がした。
- ・ いつもよりさいみん効果が高いように思えたが，一応眠ってはいない。元々，年金のことは少し理解していたので，内容の理解はできた。
- ・ パソコンを使った授業で分かりやすかった。けど，再生の時など時間がかかったり，ビデオの区切れ区切れがいまいちだったと思う。こういう授業はそうないので，新鮮みがあるのもまたしてほしい。
- ・ パソコンを使って授業をすれば，先生が黒板に字を書く時間がはぶけるし，動画や画像，インターネットがその場で使えるので，とてもわかりやすい授業を受けられた。しかし，先生がパソコンをきちんと使えなくてはいけないし，プロジェクターを使うとなると映りが悪かったり，字が見えにくいなどの問題が出てくる。そういう点では確かに便利だが，まだまだ実用化はできないのではないかなと思う。改善点をいえば，まぜ先生がパソコンに慣れる必要があるし，フリーズした時などにもすぐ対応できる必要がある。
- ・ スライドからボタンで他の画面がひらけたのがおもしろかったけど，パソコンの動作が重い。画像に色調の修正が必要。必要なところだけ，編集できたらいいと思う。

#### 【授業全般も含めた意見】

- 内容的には難しかったけど，途中で実演とかあっておもしろかったです。20歳になったら年金を払わなくちゃいけないって知らなかった。毎月一万とかキツイ。しかも，もらえるお金減らすとかゆわれて，いくら安定するからってあり得ないと思う。パワーポイントはやっぱり色あいとかも大切やと思う。見にくいのかもあったから。一台一台パソコンあるならいいけど黒板にうつすなら考えるべきやと思う。映像とかあるの良かったと思う。説明ばっかされても，ちょっとしんどいかな...と思いました。
- 将来，私たちが当然追うべきである年金問題について，テレビや新聞などの情報は（私にとって）むずかしすぎてつまらないものだった。しかし，今回のような映像を使った授業でわかりやすい例えを使って話してくれたので理解しやすかったし，興味も持てた。私たちが興味を持って終始集中してみているのは，マンガや映画などのストーリー性のあるものです。活字よりフキ出しのほうが，自然と目で追うし，理解もしやすい。そういうものを取り入れたらいいと思う。